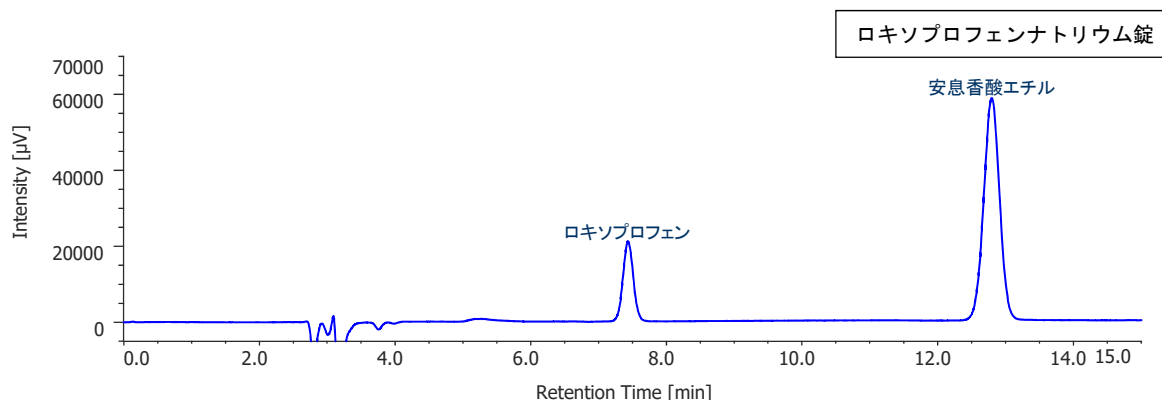
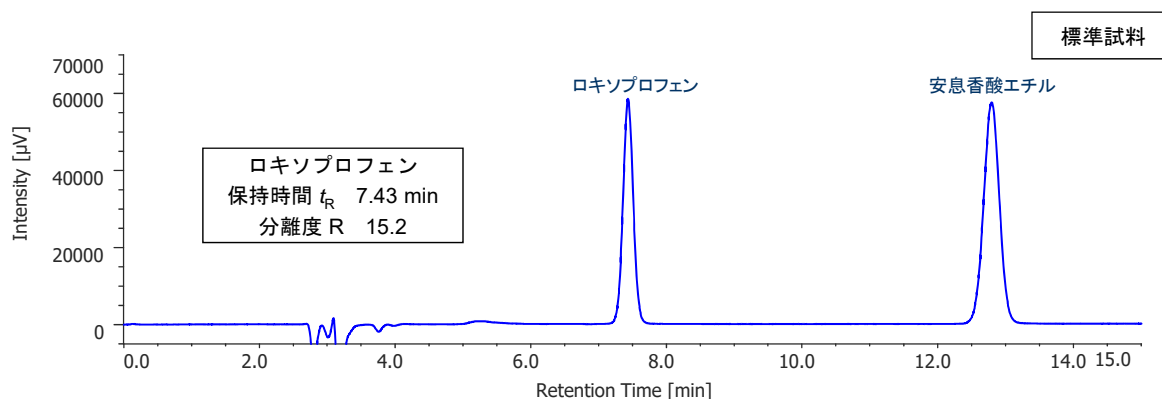


ロキソプロフェンナトリウム錠の測定

解熱鎮痛薬として市販されているロキソプロフェンナトリウム錠の定量法には、日本薬局方により、液体クロマトグラフィーによる方法が定められている。システムの適合性として、「ロキソプロフェン、内標準物質（安息香酸エチル）の順に溶出し、その分離度は10以上である」と定められている。J-Pak Symphonia C18を用い、ロキソプロフェンの保持時間が約7分になるよう移動相の流量を調整した時、ロキソプロフェンと安息香酸エチルの分離度は15程度となった。

<測定条件>

カラム : J-Pak Symphonia C18 (4.6 mm I.D. × 150 mmL, 5 μm)
 検出 : UV-222 nm
 移動相 : 水/メタノール/酢酸/トリエチルアミン (400/600/1/1)
 流量 : 0.6 mL/min
 カラム温度 : 40 °C
 測定試料 : 市販のロキソプロフェンナトリウム錠



Keyword : ロキソプロフェンナトリウム錠, 解熱鎮痛薬, Symphonia C18, C18カラム, UV検出器, ロキソプロフェン, 安息香酸エチル, 日本薬局方